

報道関係各位

2019年11月29日
プレスリリース

1万5千冊を装幀した男、菊地信義さんに聞く。装幀って、本ってなんでしょう。

菊地信義氏は、これまでに1万5千冊以上の本を装幀し、40年以上に亘って日本のブックデザイン界をリードしてきた第一人者です。愛書家で、菊地氏の装幀した本を手にしたことのない人は稀でしょう。本を目にする人を魅了し、作家と読者をつなぐ装幀はどのように生まれるのでしょうか？今回は、菊地信義氏と本をつくる人々のドキュメンタリー映画「つつんで、ひらいて」（広瀬奈々子監督）の公開を機に、「装幀とは何か」「これからの本について」など、菊地氏ご本人よりお話を伺います。

講師 菊地 信義（装幀者）

1943年生まれ。1984年藤村記念歴程賞、1988年講談社出版文化賞受賞。講談社文庫、講談社文芸文庫、平凡社新書、現代詩文庫のフォーマットや、古井由吉作品、『澁澤龍彦全集』『新編 日本古典文学全集』等の装幀を手がける。著書に『菊地信義 装幀の本』（リプロポート1989）、『装幀＝菊地信義の本』（講談社1997）、『樹の花にて』（白水社1993）、『新・装幀談義』（白水社2008）、『菊地信義の装幀』（集英社2014）、『装幀の余白から』（白水社2016）等がある。



装幀家 菊地信義氏

©2019「つつんで、ひらいて」製作委員会

聞き手：菱沼 達也（編集者）

1982年栃木県生まれ。早稲田大学第一文学部卒業。2007年より青土社書籍編集部勤務。『ユリイカ』2019年12月臨時増刊号「総特集＊装幀者・菊地信義」を編集。

開催概要

- 日時：2019年12月18日（水）19:00～20:30（18:30開場）
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：200名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：1000円
- 申込方法：ホームページの申込フォーム、電話（03-3502-3340）、来館（1階受付）いずれかにて、
① 講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。

〈 お問い合わせ先 〉

日比谷図書文化館 広報担当：並木 namiki-yuri@shopro.co.jp、中村 nakamura-shoko@shopro.co.jp

〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園 1-4 TEL：03-3502-3340/ FAX：03-3502-3341

ホームページ：https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/